

# 事業評価シート

番号 1340080 \_ 001

## 【1.基本情報】

事業名	ごみ焼却処理事業				
担当部名	環境部	担当課名	掛洞プラント		
未来地図政策	自然・地球環境保全の推進		政策コード	6 - 3 - 0 - 0	
実施方法	その他	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	昭和54年度～	年度	根拠法令 関連計画※	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	

## 【2.事業概要】

事業の目的	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第4条に基づき、市の責務である一般廃棄物(可燃ごみ)を安全かつ衛生的に焼却処理する。また、ごみ焼却余熱の有効利用を図る。				
事業の内容	ごみの高温(850℃以上)燃焼、排ガス処理設備による有害ガス排出抑制などを効率的に実施し環境保全に努める。また、ごみ焼却余熱は、プラザ掛洞(温水プールと浴場)へ蒸気供給するなど有効利用している。				
事業の対象	何を	一般廃棄物			
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市民			
	どのくらい (具体的 数値で)	年間約20,000t			
平成30年度 (実施内容)	平成30年度は計画ごみ焼却量約19,800t(稼働日数223日)に対し、実績として焼却量20,176t(稼働日数226日)であった。ダイオキシン類等有害ガス排出基準はすべてクリアし、効率的かつ安心・安全な焼却業務を行った。				

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	55,328	1,820	57,694	1,820	57,694	1,820
嘱託職員	1,826	179	1,864	181	1,864	181
アルバイト	898	204	934	203	906	197
計(A)	58,051	2,203	60,492	2,204	60,465	2,198

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
		317,280	327,153	321,035
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	需用費	61,658	68,804	64,687
	委託料	159,394	161,096	166,019
	工事請負費	93,567	94,446	88,146
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
計(D)=B+C		317,280	327,153	321,035

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	375,331	387,645	381,500

## 【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料	73	73	67
その他	2,188	2,188	1,060
計(F)	2,261	2,261	1,127

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	373,070	385,384	380,373

**【6.コストバランス】**

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	412,254	410,297	409,045
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	905	939	930

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	一般廃棄物焼却量	単位	t
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	20,360	20,690	19,805
実績値	19,903	19,860	20,176

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	検査結果の異常	単位	箇所
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	0	0	0
実績値	0	0	0

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	東部クリーンセンター極集中リスクを回避し、市の責務である一般廃棄物処理を継続的かつ安定的に実施するため、必要である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	平成28年10月から焼却施設運転維持管理を民間委託することにより専門的なノウハウを活用し、効率的かつ安定的に処理が行われている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	平成28年10月から焼却施設運転維持管理を民間委託することにより専門的なノウハウを活用し、効率的かつ安定的に処理が行われている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	老朽化した施設を必要最小限の経費で延命しながら運営しており、適正と考えられる。
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	市の責務である一般廃棄物処理を継続的かつ安定的に実施するため、市が主体となって施設を運営する必要がある。

# 事業評価シート

番号 1340080 \_ 002

## 【1.基本情報】

事業名	プラザ掛洞管理				
担当部名	環境部	担当課名	掛洞プラント		
未来地図政策	活動の源になる健康づくりの推進		政策コード	2 - 1 - 0 - 0	
実施方法	委託(民間)	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成7年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市余熱利用施設条例	

## 【2.事業概要】

事業の目的	ごみ処理問題やリサイクル問題に関心を持って頂くとともに、スポーツ・レクリエーション施設として提供し、広く市民や近隣自治体の住民に利用して頂き、健康増進や余暇活動の支援を行う。				
事業の内容	掛洞プラントの焼却余熱を利用した温水プール・浴場の運営管理を行う。				
事業の対象	何を	温水プール・浴場			
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市民等			
	どのくらい (具体的 数値で)	年間310日(開館日数)			
平成30年度 (実施内容)	「健康と文化の発信地プラザ掛洞」をテーマに、利用者増加への取組みとして、「プラザ体験フェア」、「無料水泳レッスン」等を実施。また、季節イベントとして、「ひのき風呂」などの多種類の風呂やお子様向けの「クリスマス抽選会」、絵画展などを開催した。				

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	0		0		0	
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	0	0	0	0	0	0

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
		54,016	49,755	59,894
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	指定管理料	46,080	44,200	44,200
	工事費	3,666	1,512	11,981
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
		26,815	26,815	26,815
計(D)=B+C		80,831	76,570	86,709

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	80,831	76,570	86,709

## 【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料	51	51	42
その他			
計(F)	51	51	42

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	80,780	76,519	86,667

**【6.コストバランス】**

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	スポーツ、レクリエーション施設を利用し健康増進・余暇活動に関心のある人	スポーツ、レクリエーション施設を利用し健康増進・余暇活動に関心のある人	スポーツ、レクリエーション施設を利用し健康増進・余暇活動に関心のある人
受益者数	87,435	82,688	81,435
受益者負担額(千円)	23,835	22,724	22,100
受益者負担率(%)	29.5%	29.7%	25.5%
受益者1人当たりのコスト(円、一般財源ベース)	924	925	1,064

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	利用者数	単位	人
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	90,000	90,000	90,000
実績値	87,435	82,688	81,435

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	利用料金	単位	千円
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	27,500	27,500	27,500
実績値	23,835	22,724	22,100

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	①ごみ焼却余熱を利用しており、環境問題取組を啓発している。また、健康増進施設であり、へき地にもかかわらず多くの利用があるため必要である。 ②掛洞プラント建設時、地元要望対応として建設された施設であるため必要である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	②指定管理者制度を導入し、民間の運営ノウハウを活用しているため効率的である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	・地元対策として建設・運営されており、地元住民との良好な関係は維持されている。 ・余熱利用施設であるが、掛洞プラントが停炉中はプラザ掛洞のボイラーを使用している。平成30年度は燃料費が高騰傾向にあり経費を圧迫した。 ・少子高齢化、ロケーション、競合施設等の影響により利用者は減少傾向にある。 ・施設の老朽化に伴い、修繕工事費が膨らんでいる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	利用料金は、条例に従い競合施設より低価格に抑えられており適正である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	ごみ焼却余熱を利用しており、環境問題取組を啓発している。また、掛洞プラント建設時、地元要望対応として建設された施設であるため現状維持とする。